

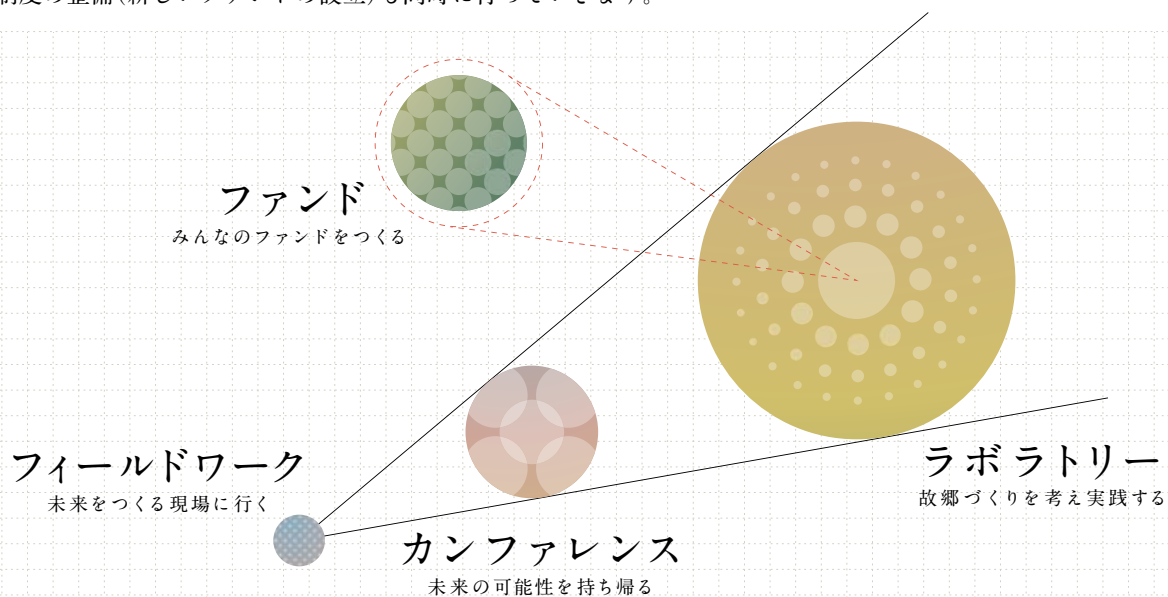


すべての人間は、未来をつくる。
東北オープンアカデミーはじまる。

東北オープンアカデミーは、地方から日本の未来をつくる社会実験プロジェクトです。
所属や立場の垣根を越えた1,000人が東北に集結し、
より豊かな未来のかたちを探り、それを実現していきます。

【東北オープンアカデミーについて】

東北オープンアカデミーでは、東北(2015年は岩手、宮城、福島)の3県を舞台として、首都圏をはじめとする全国各地から“日本の未来をつくる現場・東北”に1,000人が集結する「フィールドワーク」を実施します。参加者は、東北で活躍するリーダー達とのセッションを通して、地域が抱える課題や可能性を共有し、自分にしかできない地域との関わり方を見つけるための3日間を過ごします。また、将来的に東北や全国各地の「地域」へと入っていき、地域活性や復興の現場に関わること、自ら起業するという可能性を、より具体的なものにしていきます。そうした行動を起こすための、ネットワークづくり(カンファレンスやイベントの開催など)や、支援制度の整備(新しいファンドの設立)も同時に行っていきます。



当アカデミーへのメンバー登録料5万円(税込)には、2泊3日のフィールドワークへの参加費(現地までの交通費はふくまれていません)、東京で開催予定のカンファレンスへの参加費、そして新しいファンド設立のための寄付金が含まれています。

【フィールドワークについて】

今年の2月から4月にかけて、東北各地(岩手、宮城、福島)で、未来を見据えて活躍するリーダー達のもとへの二泊三日のフィールドワークを企画、実施いたします。ひとつのプログラムには10~15名の参加者を募集し、設定されたテーマに通じているナビゲーターが同行して、現地のオーガナイザーとともに議論を深めていきます。1/19の募集開始から4月までの間に随時新しいフィールドワークが追加されていき、採取的には30~40前後のプログラムが実施される予定です。

フィールドワークの例:『日本初。熱エネルギー100%地域内自給に挑戦。』



地域により多くの仕事を生み、かつ住民の暮らしに浸透しやすい手段として木質ペレットに着目。何もかも素人の建設会社が、2012年からペレットの販売、ペレットストーブの代理店業務に着手、最終的には自社でペレットストーブまで開発。また、ペレット以外の未利用森林資源の活用方法についても検討するため、地元の林業や製材業を営む仲間とともに大学研究者や行政を巻き込んだ組織をゼロから立ち上げ、木質バイオマスの地産地消を先導している。地域の最前線では何が起きているのか？ 外からではなかなか見えにくい地域の現状や課題、地域が保有する資源の可能性について、このフィールドワークを通して肌で感じていただきます。森林資源の活用やエネルギーに可能性を感じている、または興味を持っている方はぜひご参加ください。プロジェクトの裏側をのぞきながら、森林資源の活用から生まれる未来の情景を熱く共有し、参加者同士の接点から新たな挑戦が生まれることを期待します。

【カンファレンス／ラボラトリについて】

フィールドワークに参加した東北オープンアカデミーメンバーが一同に会し、また東北からリーダー達が集結する「カンファレンス」を東京で開催(5月開催予定で調整中)。三日間のフィールドワークで得られたアイデアを共有して、より具体的なビジョンへとつなげ、またアカデミーメンバー同士のネットワークを広げていきます。カンファレンス後も定期的にイベントやミーティングを開催(おもに東京と東北各地で開催予定)し、個別のアイデアをブラッシュアップしながら、実践に向けての準備や支援を円滑に行えるためのプラットフォーム=わたしたちの「ラボラトリ」です。

【ファンドについて】

メンバー登録料から得られる収益は、新しい「ファンド」の設立に充てられます。このファンドはアカデミーメンバーや東北ですでに活動をはじめている今回のオーガナイザーが、実際に東北で活動するための支援金や、また地域から起業するための資金として運用されます。アイデアだけで終わらず、かたちにすることで、「地域」と「日本の未来」へのより具体的なインパクトが生まれることを期待しています。

【活動スケジュール】

1月19日(月) 公式ウェブサイト正式稼働 フィールドワーク募集開始 <open-academy.jp>

新しいフィールドワークの情報は4月までの間に随時更新されます。

関係者のインタビュー記事や、イベント情報など、最新情報も随時アップされる予定です。

2月2日(月)

〈日経Bizアカデミー × 東北オープンアカデミー〉

スペシャルセミナー開催(@東京コンベンションホール)

『地方創生リーダーシップセミナー ～なぜ地方からリーダーが生まれるのか～』

ゲスト:須田善明氏[宮城県女川町長] / 高橋博之氏[特定非営利活動法人東北開墾 代表理事] /

立花貴氏[公益社団法人Sweet Treat 311 代表理事] / 御手洗瑞子氏[株式会社気仙沼ニッティング 代表取締役]

岩佐大輝氏[株式会社GRA 代表取締役CEO]

モデレーター:山元香里氏[フリーアナウンサー]

2月27日(金)～ 4月末

東北オープンアカデミーのフィールドワーク実施

フィールドワークは2月27日からのほぼ毎週末(金曜夜～日曜日昼)の2泊3日、岩手、宮城、福島の各地で開催します。

2月～4月の間で、およそ35～40タイトルくらいのフィールドワークを企画・実施予定です。

同じフィールドワークを、日程を変えて複数回実施する場合があります。

2月以降、東京でのネットワークイベント「東北オープンカフェ」を実施予定です。(詳細未定)

5月～6月

カンファレンス開催(東京、日程・会場は調整中)

※およそ1,000人規模のカンファレンスを想定。後半はテーマや地域毎の分科会を実施。

6月以降

随時イベントやミーティングを開催・ファンド設立

※東北オープンカフェなど(東京都内、不定期開催)

【基本情報】

公式ウェブサイト:open-academy.jp

公式フェイスブック:www.facebook.com/tohoku.oa

東北オープンアカデミー事務局:

東北事務局(公益財団法人 地域創造基金さなぶり内)〒980-0804 仙台市青葉区大町 1-2-23 桜大町ビル303

東京事務局(NPO法人ETIC内)〒150-0041 渋谷区神南1-5-7 APPLE OHMIビル4階 TEL:03-5784-2115

運営責任者:東北オープンアカデミー実行委員会 共同事務局代表 鈴木祐司

問い合わせ先: info@open-academy.jp

【運営体制】

主催：東北オープンアカデミー実行委員会

特別協力：日経Bizアカデミー

事務局団体：東北事務局(公益財団法人地域創造基金さなぶり、一般社団法人ワカツク) / 東京事務局(NPO法人ETIC.)

運営委員(2015/1/5現在)

岩佐 大輝 (株式会社GRA 代表取締役CEO) 宮城県・山元町

小野寺 靖忠 (株式会社オノデラコーポレーション 専務取締役) 宮城県・気仙沼市

貝沼 航 (株式会社明天 代表取締役) 福島県・会津若松市

梶屋 拓朗 (一般財団法人KIBOW 事務局長) 宮城県・仙台市

鎌田 千瑛美 (NPO法人蓮笑庵くらしの学校 古民家再生プロジェクト代表) 福島県・田村市

葛巻 徹 (一般社団法人いわて連携復興センター 事務局長) 岩手県・北上市

小松 洋介 (NPO法人アスヘノキボウ 代表理事) 宮城県・女川町

柴田 亮 (岩手大学 特任准教授) 岩手県・盛岡市

鈴木 祐司 (公益財団法人地域創造基金さなぶり 専務理事) 宮城県・仙台市

高橋 大就 (一般社団法人東の食の会 事務局代表) 東京都

高橋 博之 (NPO法人東北開墾 代表理事) 岩手県・花巻市

林 篤志 (合同会社paramita 代表 / 土佐山アカデミー Co-Founder) 東京都

伴場 賢一 (一般社団法人Bridge for Fukushima 代表理事) 福島県・福島市

臂 徹 (株式会社Next Cabinet Iwate 取締役) 岩手県・盛岡市

藤沢 烈 (一般社団法人RCF復興支援チーム 代表理事) 東京都

山内 幸治 (NPO法人ETIC. 理事・事業統括ディレクター) 東京都

渡辺 一馬 (一般社団法人ワカツク 代表理事) 宮城県・仙台市

取材のお申込み、お問い合わせは

東北オープンアカデミー東京事務局までお願いいたします。

東京事務局(NPO法人ETIC.内)

〒150-0041 渋谷区神南1-5-7 APPLE OHMIビル4階

TEL:03-5784-2115 FAX:03-5784-2116

info@open-academy.jp

担当:中安(ナカヤス)、諸(モロ)
